

第12次5カ年規画期間中の黒龍江省における産業発展の推進と協力モデルの構築

対外経済研究所（北京）副研究員 馬強

はじめに

中国は「国民経済及び社会発展の第12次5カ年規画の策定に関する提案」で、「内陸国境地域の開発・開放を加速する」と打ち出した。黒龍江省における産業の発展及び国際・国内協力の推進は「第12次5カ年規画」を実施するための重要な部分であり、黒龍江省自体にとっても大きな意味を持つ。黒龍江省には、比較優位を最大限に生かして資源配置の合理化を図り、産業発展の外部・内部環境の改善を行うことが求められている。中国の産業発展及び国際・国内協力の前線地域として、新たな成長センターになることを目指すべきである。

1. 黒龍江の産業発展と国際・国内協力の全体構想

中国は地域開発と地域経済協力を推進しており、特に内陸国境地域における経済開発と国際協力を重点的に行っている。例えば、新疆ウイグル族自治区と中央アジア諸国の協力、雲南省とベトナムの協力及び広西チワン族自治区とアセアン諸国との協力等が挙げられる。黒龍江省はこのような国際地域協力の経験を活かしながら、ロシアとの協力を重点的に行うべきである。具体的には、地域の産業構造を改善し、市場経済と国際協力のニーズに対応して積極的に体制改革を行う。経済的特性を活かし、保有する資源を有効に利用して産業競争力を強化する。地域間の産業の配置構造を改善し、産業間のキャッチアップを促して国際・国内の産業協力を促進する。国境地域を対外開放の前線とし、綏満（綏芬河～満州里）鉄道沿線を背後地として、複数ポイントによる発散型国際協力の構図を形成する。黒龍江省には、国際・国内協力の先導地域及び北東アジア地域協力のセンターに成長することが期待されている。

2. 第12次5カ年規画期間中の黒龍江省の産業協力の方向性

2.1 国際面におけるロシアとの産業協力

(1) 加工貿易を発展させ、製品の付加価値を高める

黒龍江省はブランド戦略を実施し、電気機械・ハイテク製品の輸出規模を拡大して中国の対口輸出における黒龍江省のシェアを高める必要がある。具体策としては、以下の

4点にまとめられる。①牡丹江市の各種産業園區及び同江、撫順等の重要口岸（通商口、以下同じ）を活かして木材の輸入・加工産業を発展させる。②ハルビン市、チチハル市、ジャムス市等の背後地を利用し、口岸地域の通関機能と都市機能を強化し、電気機械製品の輸出を拡大させる。③ジャムス市のスポンジチタンプロジェクト、伊春市西林区の鉄鋼プロジェクト、双鴨山の建龍鉄鋼プロジェクト及び黒河市の金属珪素加工プロジェクト等を推進し、国際市場向けの冶金関連産業を発展させる。④国外の加工産業園區、各種取引市場及び販売ネットワークを活かし、ロシア市場を中心とした軽工業、繊維、建材等の製品の生産と輸出を拡大させる。

(2) 原材料・エネルギーの対口協力を推進する

黒龍江省企業が直接投資、M&A、経営統合等の形でロシアに進出し、現地の原材料・エネルギー産業に参入することを促す。法律に基づいた資源・エネルギー探索と開発を支援する。沿海地域及び香港、マカオ、台湾の企業と連携し、ハバロフスク、ザバイカル、アムール州を重点地域として木材伐採・加工における対口協力を推進する。ウドカンの銅鉱、キムカンの鉄鉱、ガリの鉄鉱・マンガン鉱等の開発に積極的に参加し、エネルギー分野の国際協力を促進する。

(3) 農業の国際化水準の向上を図る

黒龍江省の農業技術、設備、人的資源の優位性を活かし、農業協力を促して農業関連企業を育成する。外国において独資（100%出資、以下同じ）又は合弁の形で農場を設立（請負・賃貸等）し、現地の農業開発区の整備に参加する。農業・牧畜業・水産業等の生産基地、加工基地、農業技術研究開発試験センターの建設に参加し、生産・加工・貿易が一体化した中口農業協力モデル地域を目指す。

(4) 極東地域開発に参加する

中口の地域発展戦略を実施し、エネルギー、輸送、通信、水利、環境保護、インフラ整備等の分野を中心に極東地域開発に参加する。建設プロジェクトについて実力のある省内企業が一括事業請負、資本参加に伴う請負、BOT¹等の方式で工事を受注することを支援し、関連設備の輸出、技

¹「Build-Operate-Transfer」の略。民間企業が自らの資金で施設を建設し、一定期間において維持管理・運営を行い、事業終了後に所有権を移転する方式である。

術提携、労働者派遣等を推進する。

- (5) 国境外経済協力区の整備を通じて企業経営の国際化を促す

国境外経済貿易協力区の整備を参加し、省内企業による協力区の投資を支援する。中口はウスリースク経済貿易協力区の建設を加速しているほか、極東工業区、華宇工業区、モゴイトゥイ工業区、ニジニレンスコエ木材加工区、アルセニエフ総合加工区等の産業園区の整備も行っている。黒龍江省と蒙東（内モンゴル東部の呼倫貝爾市、興安盟、通遼市、赤峰市、錫林郭勒盟、以下同じ）の地方政府は、域内企業による国境外経済園区への投資を促し、加工・組立関連産業の発展を促進し、企業経営の国際化を推進する。

2.2 国内における東部地域との産業協力

- (1) 農産品加工の推進

農産品の生産構造を調整して産業構造の改善を行う。「環境にやさしい農業」、「無公害農業」による新製品の開発・生産を促進し、農産品・加工品の生産を拡大する。東部地域が農業生産・加工を内陸部に移転するチャンスを捉え、農業資源の有効利用を前提とした農産品・林業製品の加工産業を発展する。農産品・加工品の付加価値率の向上に努める。

- (2) 工業基盤の強化

東部沿海地域では産業集積が進み、科学技術の産業への応用が活発し、製造業の内陸部への移転を加速している。黒龍江省はこのチャンスを活かし、産業移転を積極的に受け入れるべきである。導入したハイテク技術・応用技術を利用して既存産業の技術革新を行い、製品構造を改善して付加価値率を高める。地方政府は中長期の発展計画を策定し、知識集約・技術集約の機械製造業の発展を促す長期的戦略を実施する。重要な技術革新プロジェクト及び工事プロジェクトについて、省内企業と沿海地域の大学・研究所との技術協力を促進する。企業が主体となって技術革新を行うことを支援する。産業のキャッチアップ及び競争力の向上に取り組む。

- (3) 現代サービス業の発展

黒龍江省は工業化の進展及び消費構造の変化に対応し、小売、貿易、物流、文化関連、観光等の現代サービス産業に重点的に取り組むべきである。ソフトウェア・情報サービス、研究開発、品質保証、科学技術の産業への応用等に関連する省内企業を育成し、市場開拓・財務・ビジネスコンサルティング等のサポートセンターを整備する。サービ

ス業と製造業との協調的発展を促進することが重要である。ハルビン市、大慶市、チチハル市等の中心都市において、国際市場からのアウトソーシング業務の受注を促し、サービス貿易拠点の育成に取り組む。

2.3 黒龍江省内の産業協力の方向性

- (1) 哈大齊工業回廊の産業協力

哈大齊（ハルビン～大慶～チチハル、以下同じ）工業回廊に位置する各市の自然資源と比較優位を利用し、地域産業の特徴を生かしながら産業協力を推進する。具体的には、ハルビン江北工業新区、平房工業新区、大慶東城ハイテク開発区、南苑ハイテク産業開発区、富拉尔基民營科学技術模範区等、経済成長の牽引役として期待できる産業集積地を重点的に発展させる。（表1）

このほか、肇東市は食品加工関連のバイオ産業、農産品加工、漢方薬関連産業、新素材産業を重点的に発展させ、ハルビン市からの産業移転を受け入れる。

安達市は、乳製品を中心とした農産品・加工品産業を発展させる。大慶市の精密化学工業、石油製品加工産業の波及効果を利用し、関連産業の移転を受け入れる。具体的には、総合開発区では農産品・加工品産業、物流産業を発展させ、精密化学工業区では石油化学の川下製品の加工を発展させる。精密化学工業区は、新素材、新分野における精密化学工業の発展を促し、大慶市の石油化学関連プロジェクトの加工基地を目指す。

- (2) 哈牡綏工業回廊の産業協力

哈牡綏（ハルビン～牡丹江～綏芬河、以下同じ）工業回廊について、「2極」（牡海寧²と綏東綏³の2つの都市（鎮）グループ）と「1軸」（哈牡綏対口産業協力帯牡丹江部分）の発展の仕組みを形成する。口岸地域と背後地の経済連携を強化し、域内開発と国際協力の両方を行う。ロシアとの経済・科学技術協力を促し、2つの都市（鎮）グループと1つの対口産業協力帯の発展を重点的に行う。（表2）

ほかの地域について、それぞれの環境状況・産業の特徴に応じた対口協力を促進する。例えば、301国道沿い、穆稜市及び東寧県南部地域では国外向けの農産品輸出生産及び加工を発展させる。寧安市、海林市西部地域では対口観光誘致を重点的に行う。林口県、穆稜市北部地域では、非金属加工業を中心として発展させる。

- (3) 黒龍江省の国境地域の産業協力

綏芬河、東寧、撫遠、同江等の口岸地域を対外開放の窓口とし、牡丹江、鶏西、ジャムス、伊春、黒河等の都市を

² 牡丹江、海林、寧安、以下同じ。

³ 綏芬河、東寧、綏陽、以下同じ。

表1 哈大齊工業回廊における産業分業

ハルビン市	ハイテク関連の自動車産業、宇宙関連産業、電子機械産業、現代医薬品産業、環境関連産業、情報産業、健康で安全な食品関連産業、現代物流産業	
	江北工業新区	健康で安全な食品関連産業、現代医薬品産業、環境関連産業、情報産業等
	平房工業新区	自動車産業、宇宙関連産業、電気機械産業、健康で安全な食品関連産業、現代医薬品産業、情報産業、国際産業移転の受入、現代物流産業
	群力新区	地域競争力と影響力を有し、研究開発・ビジネス・金融・オフィス・住宅地が一体化した環境に優しい新区を目指す。ハイテク研究開発園區、本社機能集積区、環境に優しいコミュニティ区域を整備する
	太平空港経済区	空港物流業、付加価値の高い健康で安全な食品産業
	香坊工業新区	対口輸出関連の加工貿易、農業機械製造、健康で安全な食品の加工、精密化学工業製品の生産等を行う。韓国企業を誘致してIT・ハイテク産業を発展させる
大慶市	付加価値の高い石油化学産業、天然ガス関連の化学工業、農産品・加工品産業、繊維産業、新素材、機械製造、電子情報産業等	
	東城ハイテク開発区	ハイテク関連の農産品・牧畜産品加工産業、機械製造、医薬品産業、情報産業、軽工業、化学工業、精密化学工業、新素材工業
	紅崗建材加工区	省エネルギー・環境に優しい建材産業
	龍鳳石油化学製品加工区	建材、プラスチック、石油化学加工等
	讓胡路機械製造及び化学工業原料加工区	石油・石油化学関連機械、自動車部品加工、石油化工産品加工
チチハル市	機械製造業の強化、健康で安全な食品関連産業及び石炭液化工業の発展、電子情報、環境保全、エネルギー、製紙、冶金、建材等関連産業の発展	
	南苑ハイテク産業開発区	機械製造業及び健康で安全な食品関連産業
	北苑経済技術開発区	有機農業関連産業、電力・電子産業、省エネ・環境に優しい建材産業及びエネルギー産業
	富拉尔基民営科学技術模範区	機械製造、省エネ・環境に優しい建材産業、石油化学製品加工等

出所：筆者作成

表2 哈牡綏工業回廊における産業分業

牡海寧都市（鎮）グループ	総合サービス機能	金融、仲介、コンサルティング等の現代サービス業、国際貨物輸送を中心とした通商サービス、中口交流を促進するための観光業・展示産業
	商品集積機能	専門の卸売市場を中心とした卸売・小売業、越境物流産業
	生産加工機能	木材、製紙、原油、精密化学工業等の輸入加工業、ロシア向けの食品、繊維製品、家電、日用軽工業品、内装材料等の輸出加工業、ロシアの技術を活かしたハイテク産業
綏東綏都市（鎮）グループ	対ロビジネス関連サービス業	綏芬河～ポグラニチヌイ貿易総合体、東寧～ボルタフカ互市貿易区
	加工業	輸入資源製品の品目及びロシア側の市場ニーズに対応し、木材、金属等の輸入加工業及び服装、家電製品、建材等の輸出加工業を発展させる
	農産品の輸出生産・加工産業	農業生産の比較優位を活かし、果物、野菜、牧畜、家禽、食糧を中心とした農産品の輸出生産・加工産業を発展させる
哈牡綏対口産業協力帯牡丹江部分	牡丹江市街地と綏芬河の通関口の発展を中心とし、産業園區の建設に重点をおき、生産加工、流通・貿易、科学技術交流、現代サービス、環境保全、観光等の機能が一体化した対口産業帯を整備する	

出所：筆者作成

背後地とする空間的配置構造を形成する。国境地域では新しい産業を引き起こし、国際貿易を拡大しながら対口協力モデルを模索する。地域の特性と比較優位を活かし、重層

的で調和の取れた発展方式を構築し、開放型の産業協力構造を形成する。（表3）

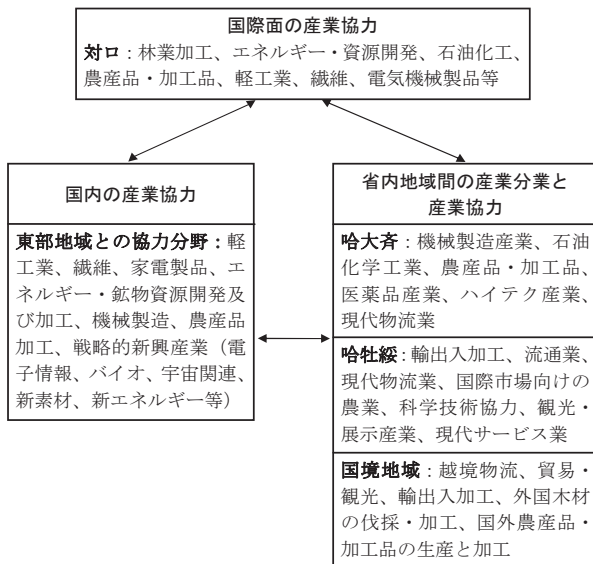
以上のように、黒龍江省は自然資源と地理的優位を活か

表3 黒龍江の国境地域における産業分業

	対象地域	主な発展方向
東南部国境開放区	牡丹江、鶏西を背後地として、綏芬河、東寧口岸を重点地域として発展する。穆稜、寧安、虎林、密山、鶏東等の周辺地域に波及する	流通・貿易、現代物流、展示産業、観光、電気機械、軽工業、繊維、木材加工、建材、農産品加工・輸出等の関連産業を発展する。越境物流、ビジネス観光、輸出入加工を特色とした国境地域の開発開放先導区を整備する
東部国境開放区	ジャムス、鶴崗を背後地として、同江、撫遠口岸を重点地域として発展する。富錦、樺川、蘿北、綏濱、饒河等の周辺地域に波及する	木材加工、新エネルギー、新素材、レジャー観光、現代物流、冶金、建材、健康で安全な食品加工等の産業を発展する。対口協力の産業基地及び特徴のある観光区域を整備する
北部国境開放区	黒河、伊春を背後地として、黒河、漠河口岸を重点地域として発展する。呼瑪、塔河、遜克、孫呉、嘉蔭等の周辺地域に波及する	黒河の地理的優位を活かし、ブラゴベシチェンスク市と資源、マーケット、産業面での協力を促進する。海外商品集積地域、ビジネス・観光ルート及び経済協力プラットフォームの機能を活かし、国外木材の伐採・加工、製錬、農産品加工、観光等の産業に重点的に発展する。黒龍江上流地域の対口経済貿易協力集積区域を整備する

出所：筆者作成

図1 黒龍江省の産業協力の方向性



出所：筆者作成

し、国際面、東部地域、省内地域間の3つのレベルで産業協力を推進する必要がある（図1）。そのためには、後述する「走出去」（海外進出、以下同じ）と「引进来」（投資誘致、以下同じ）の両方を推進しなければならない。産業の空間的配置構造を改善し、産業間のキャッチアップを促す。国境地域の振興及び住民の生活レベルの向上を促進する。

3. 第12次5カ年計画期間中の黒龍江省の主な産業協力モデル

3.1 「走出去」の産業協力モデル

(1) 国際経済貿易協力区モデル

小規模な国際経済貿易協力区を整備は、黒龍江省が周辺国と産業協力をを行うための重要なモデルの1つである。現段階では、ロシアとの大規模な経済協力区建設は時期尚早

の感があり、狭い範囲における小規模な経済協力区を整備することが現実的である。例えば、黒河とブラゴベシチェンスク、綏芬河とボグラニチヌイ、同江とビロビジャン、ハルビン経済技術開発区とナホトカ開発区における協力関係等が挙げられる。このような小規模な経済協力区は、両国の自然資源を有効に利用し、国際市場のニーズに対応した国際貿易を発展させ、地域間産業協力を促す役割を持っている。両国の企業は合弁等の形で企業を設立し、国際資本、技術、設備と管理ノウハウを吸収し、生産要素の有効利用により競争力のある製品を生産する。国際競争力の高い産業の育成に寄与し、より広範な地域の中口経済技術協力の下支えとなる。

(2) アンゴラモデル

中国は、アンゴラ共和国に2回にわたり数十億ドルの借款を提供した。アンゴラ共和国には価値相当の抵当品及び返済能力がない状況のなかで、双方が将来に採掘される石油で返済する方法で合意したことにより、アンゴラ共和国の戦後の再建がスタートした。このような協力パターンは、中国によるアフリカ援助の「アンゴラモデル」と呼ばれた。黒龍江省は、モンゴル国とロシア極東地域、特に石油とエネルギー関連製品の採掘可能な地域に対し、実力のある省内企業がアンゴラモデルで対外進出を行うことが可能である。

(3) 工事援助プラス投資モデル

黒龍江省と蒙東地方の建設企業は、外国での工事請負と共に現地の地域開発に参加することが考えられる。中国企業にとって、工事請負と投資の相互補完の効果が期待できる。

(4) 農林業における各種投資協力モデル

黒龍江省内企業は、ロシア極東地域又はモンゴル国に進

出し、多様な協力モデルを活用しながら現地の農林産業開発に参加することが考えられる。ハイテク農業基地、モデルファーム、農業技術センター、野菜栽培モデル基地及び林業栽培基地等が挙げられる。

(5) 合併・独資・M&A

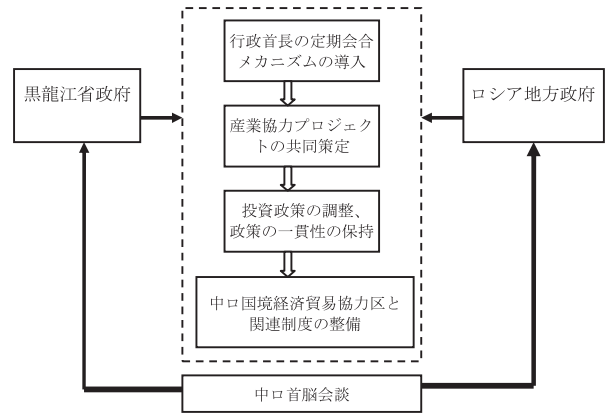
海外投資を行う中国企業、特に中小企業に広く採用されている協力パターンは合併である。また、資金力の強い投資企業にとって独資も選択肢の1つであろう。北東アジア諸国に対する対外投資としては、M&Aを通じた合併・独資企業の設立も考えられる。

3.2 「引進來」の産業協力モデル

北東アジア諸国及び国内他地域の投資を誘致する際に、黒龍江省は比較優位に基づく産業の分業関係を明確にする必要がある。黒龍江省の地理的優位性、豊富な資源を活かし、海外・国内他地域の資金と技術を誘致して産業協力を行うべきであろう。その場合、黒龍江省の各種産業協力園区が投資誘致の中心となる。具体的には以下の6つの協力モデルが考えられる。

- (1) 北東アジア諸国または国内他地域の企業は、資金・技術を出資し、黒龍江省は土地、建物及び労働力を出資して合併・協力企業を設立する。独資企業の設立も考えられる。
- (2) 北東アジア諸国または国内他地域の企業は、黒龍江省の加工貿易基地に投資する。黒龍江省の国際輸送ルートを活かし、国外から原料・資源を輸入して加工し、製品を国外又は国内他地域に販売する方式である。
- (3) 北東アジア諸国又は国内他地域の企業は、黒龍江省の産業園区に地域統括本部を設立する。黒龍江省の技術、資金及び国際協力の優位を活かし、地域密着型産業の研究開発を行って、調達・物流システムを改善する。
- (4) 黒龍江省は、基幹産業の特色を活かしながら、国内外の先進地域からの産業移転を受け入れる。石油化学、機械製造、農産品加工等の基幹産業が中心となると考えられる。
- (5) 黒龍江省は、先進地域の循環型経済園区の経験を参考にし、資源・原材料の総合利用を促してクリーン・エネルギーの生産を促進する。環境にやさしい生産技術を導入し、省エネで排出量と汚染が少ない循環型経済の模範地域を目指す。
- (6) 北東アジア諸国又は国内他地域の企業は、黒龍江省の産業園区に業種別・投資国別等の小規模な園区を設立する。重層的で特色のある「区中区」、「園中園」を整備する。

図2 黒龍江省とロシア地方政府との協力メカニズム



出所：筆者作成

4. 黒龍江省の国際産業協力メカニズムーロシアの事例ー

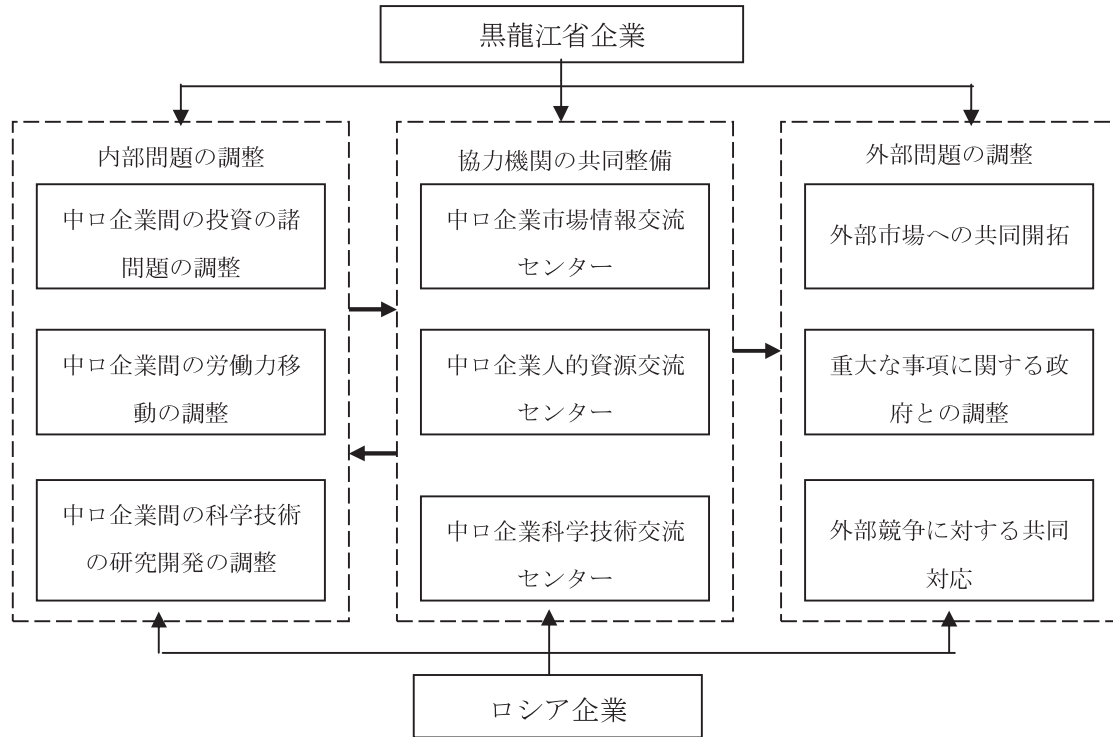
4.1 政府間の協力メカニズム

国際協力における政府の姿勢は極めて重要である。政府からの支援は、企業間協力の環境作りに大きな役割を果たしている。黒龍江省政府は、ロシアの地方政府と長期にわたり安定的な協力メカニズムを構築する必要がある（図2）。また、中央政府に働きかけ、国境地域の重要な協力事項を中ロ首脳会談の議題に入れる等、政府レベルで産業協力の枠組みを確立する必要がある。中ロの省・州レベルの政府間会合メカニズムを充実させ、政府、学校、研究機関、企業間交流の架け橋を作る。

4.2 企業間の協力メカニズム

中ロの企業は文化・伝統、経営理念等の面で異なり、市場情報の非対称性という問題もある。企業間協力の柔軟性を高めるために、企業グループによる協力メカニズムを構築し、資源・市場要素を最大限に生かす必要がある。具体的な協力メカニズムは、図3で示すとおりである。ここに見られるように、協力メカニズムの中心は3つの企業間協力・交流センターである。中ロ企業市場情報交流センターでは、投資情報及び市場の需給情報を交換する。中ロ企業人的資源交流センターでは、一般労働力、管理職、通訳等の人的資源データベースを構築し、様々なレベルで労働情報を交換する。中ロ企業科学技術交流センターでは、農業生産技術の交流プラットフォームを提供し、研究協力プロジェクトの共同策定及び調整を行う。3つの企業間協力・交流センターは、両国の企業間情報を速やかに交換すると共に、外部環境の改善に向けての共同作業も可能にする。中ロの産業協力は、既存の貿易・投資方式から全面的で重層的な協力モデルに転換することが期待できる。

図3 黒龍江省とロシアとの企業間協カメカニズム



出所：筆者作成

参考文献

郭振、劉寒玫、李世鵬「黒龍江省承接東部沿海地区産業轉移優化産業結構的探析」『經濟研究導刊』2010年 Vol.24 pp.146-148

黒龍江省發展改革委員會「黒龍江和內蒙古東部部分地區沿邊開發開放帶規劃綱要－以綏滿鐵路沿線地區為支撐」報告書 2011年

徐淑梅「黒龍江省与俄羅斯遠東産業合作開發研究」『人文地理』2000年 Vol.1 pp.67-69

孫彩、胡瑤瑛「黒龍江省承接國際産業轉移的現狀、問題及

対策」『科技与管理』2010年 Vol.7 pp.4-6

孫永「加快黒龍江省与韓國經貿合作的新舉措」『黒龍江社會科學』2009年 Vol.6 pp.95-97

笄志剛「改革開發譜寫黒龍江對日經貿合作新篇章」『學理論』2008年 Vol.16 pp.20-24

張鳳林「拓展黒龍江省對日經貿合作的新途徑」『黒龍江社會科學』2009年 Vol.6 pp.93-95

陶海東「我國地方省份与俄羅斯農業合作機制研究－以河南省為例」『經濟問題』2010年 Vol.4 pp.90-93

The Promotion of Industrial Development and the Construction of a Cooperation Model in Heilongjiang Province during the Period of the Twelfth Five-Year Program

MA, Qiang

Researcher, Institute for International Economic Research (Beijing)

Summary

This paper examines the industrial development and cooperation model in Heilongjiang Province during the period of the Twelfth Five-Year Program. It clarifies the direction of industrial development of each area within Heilongjiang Province, and makes detailed analysis of the cooperation model for promoting international economic cooperation.

Heilongjiang Province adjoins the international frontier with Russia, and it is necessary to promote international cooperation centered on Russia intensively. To be more specific: to promote the export of value-added, highly processed commodities, and to encourage energy- and raw materials-related investment into Russia; to raise the level of the internationalization of agriculture, and to get actively involved in the regional development of Far Eastern Russia; and to put in order economic and trade cooperation zones, and to push forward investment into Russia by Chinese firms.

Within China domestically, in attempting the promotion of the processing of agricultural products, the strengthening of the industrial base, and the development of modern service industries, it is necessary to deepen the cooperative relationships with other provinces. It is necessary to clarify the priority industries for the "Harbin-Daqing-Qiqihar Industrial Corridor" and "Harbin-Mudanjiang-Suifenhe Industrial Corridor" developments, and to strengthen the logistics, imports and exports, and processing capabilities of the border areas. For Heilongjiang Province it is necessary to form a comprehensive regional cooperation construct of: international cooperation (Russia); internal cooperation (with other provinces and municipalities domestically); and intra-provincial cooperation (the various regions within the province).

In order to push the above-mentioned three forms of regional cooperation, the following cooperation models are conceivable. Models raised for the expansion overseas of Chinese enterprises include: "Foreign Economic and Trade Cooperation Zones"; the "Angola Model"; "Project Assistance and Investment"; "Agriculture and Forestry Industrial Investment Cooperation"; and "Joint Ventures, Exclusive Investment, and Mergers and Acquisitions". For the attraction of foreign investment it is necessary actively to bring in investment from Northeast Asian countries and other regions within the country.

The building of an intergovernmental cooperation mechanism and an inter-enterprise investment cooperation mechanism has major significance for international regional cooperation. In the intergovernmental cooperation mechanism the government of Heilongjiang Province must build stable cooperative relationships with Russian regional governments. In addition, it is necessary to garner support from the Chinese central government. In the inter-enterprise investment cooperation mechanism it is necessary to build the three platforms of a company information exchange center, a human resources exchange center and a science and technology exchange center, and actively to promote economic exchange between Heilongjiang Province firms and Russian firms.

[Translated by ERINA]